

(1) 食の宝庫

千葉県は「食の宝庫」です。三方を海に囲まれ、黒潮の影響を受けた温暖な気候と豊かな土地資源を生かして、米や野菜、果物、花など多くの農産物が生産されています。また、様々な種類の水産物にも恵まれています。

大消費地に近いという立地条件や、生産者の努力と高い技術力に支えられて、全国有数の農業県、水産県となっています。

例えば野菜については、多くの品目が農業産出額全国第1位となっています。

また、日本酪農発祥の地である嶺岡みねおか（南房総市）をはじめ、千葉県は飼育されている家畜の頭数も多く、牛乳、肉、卵などの畜産物を生産している全国有数の畜産県でもあります。

水産業においても、平成20年の海面漁業・養殖業生産量は19万5千tで全国第8位、平成20年の水産加工品の生産量は15万6千tと全国第2位となっています。



ちばの豊かな海の幸

(2) 地産地消 = 千産千消

あなたは「地産地消」という言葉を耳にしたことがありますか。

地域で生産された食材をその地域で消費するという意味です。

地産地消には、

- ①身近な場所から新鮮な農林水産物を購入できること
- ②安心感・親近感があること
- ③流通経費を節約できること
- ④地球環境への負担を抑制できることなどの利点があります。

千葉県では、地産地消の「地」を千葉県の「千」に置きかえて「千産千消」と表記し、この取り組みを推進しています。



「フードマイレージ」

千葉県を含め日本には、食に関する課題もあります。その一つは食料自給率が低いということです。

平成21年の食料自給率(カロリーベース)は、全国では40%となっており、およそ60%を海外からの輸入に頼っていることとなります。これにともない日本は「フードマイレージ」の総量が大きく、国民一人あたりで考えると世界1位です。「フードマイレージ」とは、食品の重量×輸送距離を表したもので、輸入量が多く生産地が遠い場合、輸送に多くのエネルギーが必要となり、地球環境へ負荷をかけることにつながります。

あなたの食事の「フードマイレージ」を計算し、みんなで日本のかかえる食の課題やわたしたちができることについて話し合ってみましょう。